

市政を問う

一般質問
8名の議員登壇

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです

1. 宮迫 勝 (日本共産党) P7

- 市長選 ○支所建て替え・本庁舎増改築 ○イノシシ等の鳥獣被害対策
※掲載以外の質問項目 ○令和3年度当初予算 ○サツマイモ基腐病対策 ○今どきの墓事情

2. 渡辺 利治 (創政会) P8

- 本庁舎増設 ○サツマイモ基腐病対策

3. 迫 杉雄 (誠和会) P9

- 農業生産 ○農家支援 ○スポーツ振興 ○不登校・ひきこもり

4. 伊地知 厚仁 (誠和会) P10

- 有害鳥獣捕獲 ○水道事業と小規模集落水道との統合 ○住宅用地分譲
○森林伐採跡地管理

5. 徳峰 一成 (日本共産党) P11

- 公約にない28億円規模の市役所再編事業は市長選挙まで凍結を
○15億円規模の末吉本庁舎の増築は、大幅見直しと減額を
○市民生活優先でコロナ支援追加予算を

6. 松ノ下 いずみ (誠和会) P12

- 認知症の徘徊対策 ○高齢者の介護予防事業
○市営住宅廃止と政策空き家

7. 今鶴 治信 (新生会) P13

- 国民健康保険療養費等負担金実績報告の誤り ○農業公社 ○移住定住対策
※掲載以外の質問項目 ○曾於高等学校総合支援対策事業

8. 岩水 豊 (新生会) P14

- 曾於高等学校総合支援対策事業 ○災害復旧の現状 ○議場改修



来年の市長選について
どう考えているか



本 議 会
一般質問の様子

市長／新たな気持ちで臨みたい

市長選について

問 来年の市長選についてどう考えているか。

市長 現在着手している岩川小学校の移転改築、桜ヶ丘住宅の建て替え、末吉中央公民館の移転改築、そして、本庁・支所再編に伴う本庁舎の増改築、両支所の建て替えなど確実に進めていく必要がある。これらについて引き続き市民に丁寧の説明する義務があると思いい、来年7月の市長選挙に新たな気持ちで臨みたいと考えている。

支所の建て替えは急ぐべきでは

問 大隅支所・財部支所ともに耐震性が無い。ここで働く職員はもとより市民の安全・安心を守るため、両支所の建て替えは一刻の猶予も許されないうと思うが。

市長 南海トラフ地震は、近いうちに高い確率で発生すると言われていいる。市民、職員の安全を図る上でも、可能な限り早く建て替えるべきだと考えている。

問 大隅支所に教育委員会、財部支所に福祉事務所・農業委員会を置くことは二重行政ともいえるのではないか。

市長 二重行政とまでは

考えていないが、特別職の教育長や本庁機能を有する課長等が支所にいるため、迅速な意思決定を妨げている現状である。合併協議会で示された「合併時にすべてを一括統合することは困難であるが、順次段階を追って整理していく」に従い、整えていきたい。

イノシシ等の鳥獣被害対策

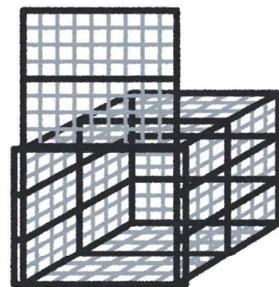
問 イノシシ等の被害対策でわな猟免許取得の支援策は。

市長 わな猟免許取得講習会の一部助成5000円を、来年度は1万円に引き上げたい。また来年度は新たに免許を取得した方を対象に、「たからべ森の学校」で捕獲講習会や、狩猟者登録手数料

の半額助成を計画している。

ちょっとひとりと

大隅支所・財部支所は耐震性がありません。建て替えは急務です。





本議会 一般質問の様子

苦しいときは辛抱して増築は
先延ばしをして!!

市長／計画通り進める



本庁舎増設

問 設計変更は何に基づ
く変更か。

市長 市が庁舎増築で業
務の素案に基づいてプロ
ポーザル審査で提案され
たものである。

問 予算規模はいくらに
なるのか。

市長 14億9067万9
000円の見込みである。

問 財源内容はどうか。

市長 緊急防災・減災事
業債3億40万円、合併特
例債を10億3700万円、
一般財源を1億5327
万9000円の見込みで
ある。

問 庁舎増設はコロナ禍
の中では市民生活を考慮
して先延ばしすべきでは
ないか。

市長 財源を考えて延ば
さずに計画どおり進めて
いく。



イメージ図

サツマイモ基腐病対策

問 サツマイモ基腐病の
発生状況はどうか。

市長 県下全域で確認さ
れ、鹿屋・南薩方面がひ
どい。

問 国の緊急支援事業の
生産者への対策説明はど
うであったか。

市長 末吉地区・大隅地
区で行い、166名出席
で86名が申請をした。

問 救済の告知と申請締
切りが短期間のため国等
へ延ばす要請をしたのか。

市長 要請はしたが、認
めてもらえなかった。

問 生産者への救済対策
について市の考えはどうか。

市長 県の対策をみな
らする。

問 コロナ禍において、
茶・野菜等、厳しい販売
であり、市独自の救済策
を出すべきではないか。

市長 市としては考えて
いない。

問 臨時会を開いてでも
救済措置をすべきでは
ないか。

市長 臨時会は開かない。



見えない病気は怖い、救済を!!

ちょっとひとりごと
合併特例債の約3割は
返すお金です。
自分の金なら先延ばし
するよ!!



コロナ禍での農業生産並びに次期作について



本議会 一般質問の様子

市長／コロナ禍の影響で価格低迷が続けば助成支援を検討したい

問 今年度の農畜産実績額について、特に水稻・甘藷・ゴボウ・生姜・ユズ・畜産等はどうであるか。

市長 耕種・畜産を含め生産額は減少すると思われる。水稻の等級は悪い、甘藷は基腐病・長雨で減少、ゴボウは平年並み、生姜は減少、ユズは1200t前後を見込んでいる。



脱穀風景

問 基腐病の次年度への対応について。

市長 土壌改良に対して、有機堆肥・笹サイレージ等を技連会等で検討して

もらう。

問 経済低迷が続く中、農家に対して助成支援の考えはないか。

市長 コロナ禍の影響で価格低迷が続けば検討する。ユズの価格は来年度127円に戻す。



農業生産向上により増加する農業用廃プラスチック類

スポーツ振興

問 曾於市スポーツ協会への名称変更について対応は。

教育長 県内では協議されている。市体育協会と

協議して対応する。

問 国の「第2期スポーツ基本計画」について対応はどうであるか。

教育長 指針の中でライフステージに応じたスポーツ活動の推進、活性化への取り組み、各関係団体との連携のもと、スポーツ振興に取り組んでいる。

不登校・ひきこもり

問 不登校・ひきこもりの状況は。

教育長 不登校の状況は、小学校に2名、中学校3校に22名です。

問 教育委員会の対応はどうであるか。

教育長 毎月、生徒指導に係る月例報告により各学校の不登校の状況を把握し、学校と連携を図っている。

問 適応指導教室での学習支援や教育相談等でも解決を見いだせない状況に、もう少し対応が必要ではないか。

教育長 県教育委員会に専門のソーシャルワーカーをお願いして対応する。

ちょっとひとりごと

不登校の原因は複合的である。現状のままでは十分な対応ができていないな。



本 議 会 一般質問の様子

有害鳥獣捕獲について

市長／一部助成金を検討している



問 狩猟者の減少に伴って、捕獲の担い手の育成は。

市長 わな猟免許取得講習会の一部助成で、一人5000円の助成を出していたが、来年度は1万円の助成を考えている。捕獲従事者の負担軽減を図るため、狩猟者登録手数料の半額助成も計画している。

問 狩猟期間中の報奨金の支払いはできないか。

市長 今後やむを得ない状況が出てくれば検討したい。

水道事業と小規模集落水道との統合

問 水道事業と集落水道との統合はできないか。

市長 組織として判断できる仕組みが必要で、現在その状況に応じた組織づくりを準備中である。今後も負担軽減を図るため集落水道事業を支援していきたい。



水道水は命の供給水

住宅用地分譲

問 住宅用地分譲は売れる価格にできないか。

市長 大隅南と大隅坂元分譲地は今後売れる価格に検討する。財部の分譲

地は、都城地域より価格差をつけて売り出したい。



魅力ある分譲価格

森林伐採跡地管理

問 森林伐採跡地管理の状況は。

市長 伐採及び伐採後の造林の届出書の改正後、以前のような地域住民とのトラブルは少なくなつた。

問 伐採による災害苦情はないか。

市長 今年は7件の苦情が寄せられている。道路の破損、河川への立木流出、水路への土砂流出であり、災害苦情の件は、伐採業者に原形復旧をいただいている。



ちょっとひとりごと

コロナから国民の命を守る施策を



とくみね かずなり
徳峰 一成
(日本共産党)

15 億円規模の本庁舎建設は
建設費の大幅減額を



本 議 会
一般質問の様子

市長／既定方針で進めていきたい

公約にない28億円規模
の市役所再編は、市長
選挙まで凍結すべき

問 次の市長選挙まで事
業は凍結すべき。

市長 次の市長選挙で公
約の重要な柱として進め
ていきたい。

15億円規模の本庁舎増
築は、大幅な減額を

問 今後の人口減少や来
年度の財政はどうか。

企画課長 令和12年は2

資料「曾於市の人口と予算の推移」

	平成18年 (合併時)	令和2年 (現在)	令和12年 (10年後)
人口	4万3千人	3万4千人	2万7千人
予算	197億円	350億円	?

※人口は、1千人未満は切り捨て。令和12年は推計値。
※予算は一般会計歳出。1億未満切り捨て。平成18
年度は決算額。令和2年度は予算額。

万7895人となる。

市長 来年度市税は1億
4700万円の減額、国
民健康保険は、一般会計
から3億円以上繰り入れ
をせざるを得ない。

介護福祉課長 介護保険
は、1億3000万円ほ
どの財源不足となる見通
しである。

問 国保税は来年は値上
げはしないとして、再来
年はどうなるか。介護保
険は来年は値上げか。

市長 国保税の再来年は
まだ検討していない。介
護保険の来年の値上げは
まだ決定していない。

問 来年度の15億円建設
は数億円に減額すべきで
はないか、理由のひとつ

は、教育委員会本所と福
祉事務所はふたつの支所
に残し、末吉本庁舎に集
約すべきでない。さらに
人口減少や今後の厳しい
財政、市民の税負担など
を考慮すべきだ。1階と
2階に二つの市民の広場



末吉本庁舎の1階ロビー (68坪)
※増築する1階ロビーは売店を含め130坪の計画

や30坪の売店は必要ない。

市長 熊本地震を教訓に
して、各階のスペースは
確保していきたい。

市民生活優先で、コロ
ナ支援の追加予算を

問 曾於市のコロナ対策
は、近隣の自治体に比べ
予算が少ない。市長の姿
勢が問われている。緊急
に追加措置を講じるべき
ではないか。

市長 実態を調査して、
その方向で取り組みたい。

ちょっとひとりと

人口減少、厳しい財政、
市民の税負担
15億円建設は
数億円に！最優先は
コロナ対策



本 議 会 一般質問の様子

認知症徘徊予防対策、
一刻も早く考えるべきでは

市長／その人の状態に応じて具体的に
対応し予算化していく



問 消防団の出動状況
防止対策は考えてい
るか。

年 度	回数	人 数	経 費	食料費
平成29年	12回	366人	186万円	18,000円
平成30年	12回	450人	229万円	32,949円
令和元年	13回	558人	284万円	0円

市長 次のとおりである。

問 過去3年間の消防団
の出動回数、延べ人数、
経費は。

市長 平成29年7人、平
成30年9人、令和元年7
人であった。

問 過去3年間の行方不
明者の数は。

市長 対策は考えている
がなかなか絞り込めない
でいる。

問 家族の心配、消防団
員の疲弊を思えば一刻も
早く、各個人に対応した
対策を考えるべきでは。

市長 貸与型の機器など
社会福祉協議会と協議し
ながら予算化していく。

介護予防事業

問 訪問型サービスの利
用者は何人か。

市長 140人となって
いる。

問 通所型サービスの利
用者は何人か。

市長 252人となって
いる。

問 元気なうちはいいが、
介護状態になる前の予防
はどうすればいいか。

市長 市が行なっている
様々な事業に、地域、民
生委員の方々に諦めない
で声かけしてもらった
り、家族の協力等で参加
して欲しい。

市営住宅廃止と 政策空き家

問 市営住宅廃止と政策
空き家の数は。

市長 用途廃止は2団地
12戸、政策空き家は23団
地130戸である。市有
住宅は用途廃止5団地8
戸である。

問 廃止後の活用は考え
ているか。

市長 住民が退去した後

解体する。

問 周辺部跡地にも、市
営住宅・振興住宅建設・
単身者用住宅とか考えて
いないか。

市長 直ぐには考えてい
ない。空
き家の整
備対策に
力をいれ
る。その
後公共施
設が必要
ならば考
える。



市営住宅の用途廃止と政策空き家

ちょっとひとりとこ

周辺部の人口減少、
対策は？



市長としての責任は どう考えているか



本 議 会
一般質問の様子

市長／市民・県に心配をかけたことは反省している

国民健康保険療養費等 負担金実績報告の誤り

問 約8068万円が過大に交付された原因は何か。

市長 担当職員が、平成30年度の実績報告に当たり、国の負担割合が100分の32であるところを誤って100分の40で電算システムに入力したことによる。

問 平成30年度から国民健康保険は、県全体の広域連合特別会計となっているが、仮にそれ以前の曾於市の特別会計だったら市民の保険税の影響はどうであったか。

保健課長 市民の保険税は、同じであるが、一般会計からの法定外繰入金があるため、その分増える。

問 職員の人為的な入力ミスが原因だったが、課内の

チェック体制を含め今後の再発防止対策は。

市長 他の課を含め今後このような事が、二度と起きないようにしっかりと取り組んでいく。

農業公社

問 農業公社の実績（過去3年間）は。

市長 次のとおりである。

表1

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
水田作業	3,074万円	3,005万円	3,311万円
飼料作業	29万円	21万円	69万円
ごぼう作業	331万円	379万円	404万円
甘藷作業	34万円	23万円	18万円
一般作業	530万円	681万円	541万円
合 計	4,001万円	4,111万円	4,345万円

※千円以下は切捨てのため合計額は一致しません。(表1・表2)

問 運営費（過去3年間）は。

市長 次のとおりである。

表2

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利 用 料	4,001万円	4,111万円	4,345万円
受取小作料	625万円	583万円	
市 補 助 金	500万円	500万円	
雑 収 入	93万円	90万円	84万円
農協繰入金 (一般会計)	598万円	274万円	
負 担 金 (曾於市・農協)			2,026万円 曾於市:1,716万円 農協:310万円
国庫補助金			27万円
合 計	5,818万円	5,560万円	6,483万円

※平成29年度・30年度は農業公社以前の農業管理センターの実績
※負担金割合は市80%（差額分の476万円は人件費）・農協20%

問 市長公約で農業公社を設立したが、今のままでは、人件費が増えただけで農業管理センターが、農業公社に名称が変わっただけではないか。

市長 畜産のコントラクター事業は令和3年度に飼料作物収穫調整用機械等を導入して、令和4年度から本格的に稼働予定である。将来は、新規就農者の実習等も考えている。

移住定住対策

問 指導農業士と新規就農者の意見交換会の時、今年市外から曾於市に移住して農業を始めた方が、国の農業次世代人材投資事業や市の新規就農支援事業について知らないということだった。だからベ森の学校で農業研修後の新規就農者です。市は、もっと各課の横の連携をとるべきではないか。

市長 今後十分気をつけて、もっと積極的に移住定住対策に取り組んでいく。

ちょっとひとりと

移住対策は横の連携が
大事！



本 議 会 一般質問の様子

曾於高校大学進学祝金は？

教育長／廃止する



教育長 制服購入費の2分の1を補助するのは、市内中学校卒業生だけで、資格取得支援等は、

市長 耕地課分の国庫補助災害118件は12月か

市長 改修の内容、時期については未定である。今後協議し、改修内容・

問 曾於市の生徒と、全生徒を対象に支援するのは。
教育長 在学中の教育活動の支援策に改正する。
問 今後の支援策は。

市長 11月末で37件が完成していない。5件は今年7月の梅雨前線豪雨により再度被災したため3年度に繰越になる。
問 令和2年度災害の工事の進捗は。

市長 臨時の技術職員を採用して業務にあたる。
議場改修は
問 議会は、庁舎増築部への議場移転は、反対している。現在の議場の音響や傍聴席の改修を望んでいるが、改修計画は。

曾於高校の生徒数

平成 29 年	497 人
平成 30 年	470 人
令和元年	465 人

(定数 600 人)

災害復旧の現状

問 技術者の確保で、早急な復旧を市民は望んでいる。

市長 通常5年で交換している。

問 曾於高校の生徒数の状況は。
教育長 次のとおりである。

問 曾於高校の支援であれば、全生徒に同じように支援すべきでは。
教育長 今回の改正では、そこまでは考えていない。

ら1月に発注を行うが、小規模な工事15件以外は3年度へ繰越の予定である。建設課分は25件が発生12月末の発注を予定しているが、3年度へ繰越予定である。

問 議場で使用しているパソコンは15年以上前の機器である。市役所で使用しているパソコンは、何年で交換しているか。早急な対応を要望する。
時期は検討する。

ちょっとひとりごと
古いパソコンでは、壊れたら議会が開けなくなるのでは

